

# 葛布とは



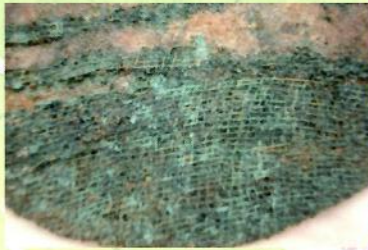
秋の七草 葛の花

葛とは日本に自生する豆科の多年草で、河川の土手や道路脇に多く見かけます。秋の七草として古来より日本人に愛されています。根茎からは葛粉、葛根湯が採れ、葉は家畜のえさになります。秋には紫色の花が咲きますが、これも葛花湯という漢方薬になります。

この茎から繊維を取りだし、織り上げたのが「葛布」です。

## 葛布の歴史

葛布の歴史は大変古く、中国では新石器時代の出土が確認され、日本でも古墳時代のもので発掘されています。



古墳時代に出土した銅鏡に張付いた葛布

平安時代には貴族の装束として延喜式に定められ、その後宮中の蹴鞠の袴や直垂などに用いられました。江戸期には武士の陣羽織、火事羽織、袴、道中着などにも使われました。



江戸時代 公家の装束 葛布直垂

明治維新後、需要がなくなった葛布は、ふすま紙、壁紙に活路を見だし、海外でもグラスクロスとして評価が高まりました。

戦後、創業した当社は「静岡葛布」として輸出用の葛布壁紙を制作。

アメリカ大統領府ホワイトハウスに貼られたり、アイゼンハワー元大統領の邸宅や欧米のVIPの館に多く使われました。

昭和40年代、円高の影響や原料の葛糸の入手困難で、輸出壁紙の需要は大きく後退、多くの葛布業者が転廃業し、一部がバックや掛け軸などの民芸葛布として生き延び今日に至っています。その中で当社は葛布襖紙を作り続け、平成8年から江戸時代の衣服に使われた葛布の再現を目指して「大井川葛布」ブランドをつくりました。



## ■工房見学ができます

工房で直接葛布の作品をお選びすることができます。葛布の作業を見学することもできます。なるべくご連絡をください。

平日9:00~17:00まで 日曜、祭日休業  
前もってご連絡くだされば、休業日でも対応させていただきます

## ■工房までのアクセス

JR金谷駅から徒歩20分  
大井川鉄道新金谷駅から徒歩3分  
新東名金谷ICから車で5分  
国道一号線バイパスから車で4分

# 大井川葛布



# 大井川葛布

## 大井川葛布 織元

〒428-0021

静岡県島田市金谷河原1747

電話 0547-45-4151

FAX 0547-45-3200

URL <http://www.kuzufu.com/>

検索→大井川葛布



## 葛布ができるまで



①夏に伸びた葛の新芽の蔓を刈り取り葉柄を落とします



②リース状に丸めた葛を沸騰した湯の中で1時間から1時間半煮ます



③冷ました葛の蔓を室の中で寝かせ、発酵させます



④発酵が済んだ蔓を川の流れて洗い、表皮、芯を取りのぞきます。のこったものが葛の繊維 葛苧です



⑤川で洗った葛苧を乾かし保存します



⑥用途に応じて太さを決め、指先または針先で葛苧を裂いていきます。その後、糸を結つなぎしていきます。



⑦糸を箸に八の字に巻いて「つぐり」を作ります。これが緯糸になります。



⑧水に濡らしたつぐりを投杼にいれ織っていきます。その後仕上げをして葛布のできあがりです。

このように 葛の採取から洗い、糸作り、織、仕上げまで葛布はたくさん行程を経てやっとできあがります。それぞれの過程に熟練の技が必要です。葛布ができるまでに採取から数えると早くても一年以上かかります。自然の恵みを糸に托し、心を込めて作り上げた葛布はお使いになる方をお守りすることでしょう。

## 葛布の作品

葛布の魅力はその雅な光沢にあります。また、本来身体に纏うものだったことから、大井川葛布は江戸時代の技術を手本に現代に生かした作品を作り出しています。



光沢があり軽く上品な葛布の帯地。応用範囲が広いのが便利です、着尺地は江戸時代の葛布の研究復元から生まれました。



帽子・ハンドバッグなどアクセサリも素敵です。軽くて上品な葛布は皆さんの目を引きまします。



葛布のスカーフ、ストールは軽くて光沢があり風を通しながらしかも暖かい。不思議な素材感です。全て天然染料で染めていて優しい色です。



葛布のタオル、ふきん、歯磨きクロスは身体にやさしく適度な刺激が心地よい。乾きの早さも特徴的です。自然布の力をもっとも感じる事ができます。

## 大井川葛布の追求

### ■制作

糸作りから染め、織りまですべて手作業で制作。自然素材のみ使用しています。環境負荷も少なく、自然との対話を大切に制作活動です

### ■販売

全国の百貨店、ギャラリーなどで出展販売をしています。最近ではネットショップも開店、大井川葛布をお気軽にお求めできるようになりました。ショップでは山形のシナ布や掛川葛布などの自然布の扱いははじめました。

### ■手織り教室

月に数回手織りの教室を開いています。草木染め教室も月1回開催。染織の楽しさを伝えています。



葛布着尺 銘 半夏生

### ■葛布ワークショップ

葛布ワークショップを毎年開催。伝統工芸の技術継承と後継者育成を目指します。近年エコロジーに興味ある方の参加も増えています。

### ■情報発信

大井川葛布公式ホームページを運営、ブログで葛布にまつわる情報を発信しています。染織情報サイトも運営。染織展示会の案内や各地の産地工房の紹介をしています。

- ・大井川葛布公式ホームページ
- ・染織情報サイト
- ・ブログ葛布通信
- ・ブログ葛布工房おかみの部屋

### ■研究

葛布の歴史を調べたり、文化遺産の調査、江戸時代の葛布の復元など葛布の研究をしています

### ■自然布の発展

葛布だけでなく日本に残る古代布の発展に寄与するため、全国古代織産地連絡会の会員になっています。年に一度、展示会と産地ツアーを開催し、古代布の振興と普及を目指しています。

